第50號　1909. 3. 5.

明治四十一年二月二十三日第三種郵便物認可　（日刊）　明治四十二年三月五日　（金曜日）　第五十五號　（一）

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

●京城中學校

校舍　（承前）

學科課程及每週教授時數配當表

學科	第一學年	第二學年	第三學年
修身	道徳の要旨	同上	同上
讀書	國語及漢文	同上	同上
作文	漢文	同上	同上
習字		同上	同上
歷史	日本歷史、朝鮮歷史	東洋歷史	
地理	日本、朝鮮	外國	
英語	讀方、譯解、會話、書取、文法	同上	同上
數學	算術	代數	幾何
博物	動物	植物	生理衛生
物理及化學			
圖畫	自在畫	同上	同上
體操	普通體操、兵式體操	同上	同上
合計	二八	二九	二九

備考　韓語は隨意科とす

學科課程及び每週教授時數配當表

第一部

學年	第四學年	第五學年
修身	道徳の要旨、倫理學大要	同上
國語及漢文	讀讀（國文及漢文）、作文、國文典大要	同上
歷史	日本歷史、東洋歷史	同上
地理	外國地理	同上
數學	幾何	同上
博物	動物、植物	同上
物理及化學		同上
法制及經濟		大要
圖畫	自在畫、用器畫	同上
體操	普通體操、兵式體操	同上
韓語		同上
合計	三〇	三〇

韓語は隨意科とす

學科課程及び每週教授時數配當表

第二部

學年	第四學年	第五學年
修身	道徳の要旨、商業道徳	同上
國語及漢文	讀讀、作文、商業文	同上
歷史	東洋歷史	
地理	外國地理	
英語及韓語	讀方、譯解、書取、會話、作文、文法	同上
數學	幾何	同上
博物	動物	同上
物理及化學		同上
法制及經濟		大要
圖畫	自在畫、用器畫	同上
體操	普通體操、兵式體操	同上
韓語		同上
商業	簿記、商事要項	同上
數學	幾何、商業算術	同上
博物	動物	同上
物理及化學		同上
體操	普通體操、兵式體操	同上
合計	三〇	三〇

（完）

●瑞光餘影（七）

急避病史

▲余等の一行十餘人は四隻の艦に分乘して此玲瓏たる玉盤江を渡る、艦頭に立つ一人のクリーが一竿氷上を衝けば艦は何等の香艶となく進航し疾き事矢の走るに似て面も些の動搖を感せず其乘心地は船車馬脊よりも遙かに好良なり乘て竿しやアレ行ますよ　艦はつる〳〵心地よく

▲一行中此の情趣を掛猥褻ならと罵る者あり余は「なに是が卑猥だとヘン假物は困るね、情と殺との眞美を巧みに穿つた實に近代の傑作ちや」と遣り返へせば此處にはしなく議論となりて氷上だけに舌の滑よく口角泡を飛せりうりが合ねば氣も解氣て

▲氷纖閒に艦はいつしか江の中央に來れり此處で竿を止め下村某の携帶せし寫眞機械を取り出して一同撮影したり話柄の材料（板氷江の上）

うつす寫眞の旅行駿委

▲左岸は支那大陸の一端にして右岸は即ち韓半島の尾端、其中間を流る鴨綠江の眞ん〳〵中、時は韓皇西遷の今撮影する寫眞は亦實に好個の紀念なり

流水れ盡きせぬ鴨綠江の
永久に紀念の此の寫眞

●京城商業學校

校舍

學科課程及每週教授時數配當表

學科	第一學年	第二學年	第三學年
修身	道徳の要旨	同上	同上
讀書	國語及漢文	同上	同上
作文	漢文	同上	同上
習字		同上	同上
歷史	日本歷史、朝鮮歷史	東洋歷史	
地理	日本、朝鮮	外國	
英語	讀方、譯解、會話、書取、文法	同上	同上
數學	算術	代數	幾何
博物	動物	植物	生理衛生
物理及化學			
圖畫	自在畫	同上	同上
體操	普通體操、兵式體操	同上	同上
商業	商事要項	簿記	同上
數學	幾何	商業算術	同上
博物	動物		同上
物理及化學			同上
體操	普通體操、兵式體操	同上	同上
合計	三〇	三〇	三〇

（完）

文苑

●宣日の夫

晴峯

今は馬鹿に寒が酷い、七朝長屋の何所も皆くから戸を立て詰めてヒツソリとして

●東洋時報　橋口正美氏の「鴨綠江岸の採木經營論」は十頁に亘る大論文なり次に個一樣氏の「袁世凱の人物」極めて面白く伊藤潰藏氏の「滿洲の水產業」何れも有益なる文字なり「日本內國殖民論」次で福永貞助氏の「滿洲の水產業」何れも有益なる文字なり京鎭町區山下町一丁目東洋協會

●韓國鐵道線　韓國運輸界の發展を期せんが爲め記事多數取つて以て參考となやなんぺへ大方わるい家來がするんだ、其樣な事を思ふと水戶樣の御領分の潮來なんざア有難てねものだ實に御仁政の下で、斯うやつて働いてるんだ、佐倉領の人ア、氣の毒で塙らねわやや……何し萬兵衛さん、偉ね事を行ふやアが御殿樣が知つて爲さる事ち

新柄ゑり地帯あげ肩掛新調其他種々
京城明治町一丁目
ゑり徳商店

京城新報

官吏の淘汰

統監政治の刷新

統監政治の刷新せざる可らざることは既に帝國議會の問題となりたるのみならず、祖國に於ける輿論となれり、帝國政府は此輿論に顧慮せずして尚現狀を維持せんとする乎、而も邦人官吏に適材少く韓人官吏の横微なること、大臣及觀察使が邦人次官及道書記官に對する態度、所謂捨名取實は實際に於て行はれず殆ど捨名捨實たるに至れることは最早祖國の一般に知れ渡りて到底蔽ふ可らず、斯の如く祖國の輿論が統監政治の不振を認むるに至りても尚現狀を維持せんとするが如きは當局者として決して智なりとすべからず、余輩は素より統監政治に就ては伊藤公とは根本に於て意見を異にせるを以て絕へず公の反省を促して止まざりき、然るに公は自已の方針を確守することに極めて雄なるが爲に容易に反省せず徒近に至りて稍々悟る所ありしが如きも未だ斷然自已の方針を變ずるに至らず、然れども最早輿論は何時迄も現政策を續行するを許さず、余輩は今に於ては唯公が夙に余輩の說を容るゝに吝なりしことを惜むなり、祖國に於ける輿論の疾風は將さに統監政治の不振を吹倒せんとする此際に於て唯之を旁觀するは余りに智なきに似たり、先ずれば人を制す、宜しく今に於て面目を一新して大に刷新の實を擧ぐ可き也、日韓關係の根本問題を革むるの必要は勿論なりと雖も先づ容易に行はるべき當面の刷新を斷行するも可ならずや、總て事物は制度其者よりも之に當る人物の選擇こそ最も肝要なり、捨名取實の次官制度の如きも若し其人物にして適材ならば實權を握ること容易なり外國に於ても此例あり捨名取實が立派に行はれ居る所以は全く其局に當る人物の優秀なるが爲なり、素より制度の改善も必要なるが之を活用して事績を擧るは其人物如何にあり、現に目賀田前顧問の如きは最も適例なり、其職は財政顧問たりしも優に廟堂を壓して自說を漸々乎として遂行したるに非ずや、度支部の如きは其餘響を受けたる爲か各部と異り毅然として捨名取實を實行しつゝあり、從て其事績も他に比し顯著なるに非ずや、要するに事蹟の擧ると擧らざるは人物の如何にあるを以て、此際大に官吏の淘汰を行ひ適材は重用し適材ならざるものは斷然黜く可し、現在の官吏を概觀すれば大に淘汰の必要あるを感ず、故に余輩は曩きに再三之を論じて當局者に警告したりき、然れども今に尙は之を斷行せず、如何に當局者が淘汰することを欲せざるも既に內部の暴露せらるゝ以上は此儘經過する能はざるべし、現狀を維持するが爲に統監政治を誤るに至ては國民は決して之を許容せざるべし、况や現に其弊を擧げつゝあるにあらずや、當局者たるもの此輿論に制せられ後余儀なく斷行するが如きは甚だ不面目ならずや、寧ろ先に斷行して一日も早く刷新の實を示すべし、之れ智にして且つ良策なりと云ふべし、

●東拓本社の移轉 東洋拓殖會社は龍山に其本社を建設すべき……を發したり

東京電報

▲韓國鐵道建議 韓國縱貫鐵道施設に關する建議案本日衆議院本會議に上る

▲追加豫算公布 四十一年度豫算追加同特別會計豫算追加本日裁可公布さる韓國鐵道建設改良費此の中に在り

▲東宮御渡韓紀念 衆議院に提出されし東宮韓國御渡航紀念章調製費は三千七百圓にして右は殿下の思召に依るものなり

記者曰く昨電議會に於ける首相各派代表者協議事項中「東宮殿下御渡韓」とありしは右該費の問題を意味したる者なるべし

▲大統領就任 タフト氏米國大統領として就任の公電あり 天皇陛下より祝電を發せらる

▲三稅廢止案反對 政友會代議士會にて三稅廢止案反對に決す(以上四日發)

雜報

●地方官制改正 曩に報導したる地方官々制改正(吏員定員增加)は既に閣議を經て目下副統監の承認手續中なる由にて近々發布され同時に職員の任命を發表せらるゝ筈なり

●地方費規則と閣議 地方費規則は過般來の閣議に上るべき筈なりしも都合に依り延期されたるが愈々昨日の閣議に上れり

●土地整理進捗 臨時財產整理局にて整理中なる皇室所管の土地にして國有に移すべきものの整理は目下着々進捗中なることは既報の如くなるが驛屯土宮庄土及封山、內核字の山林は既に引繼濟みとなり此價格約一千七八百萬圓にして未定の分は陵園墓、位土、外核字、無主の土地等なりと

●增稅率と米價

(大阪朝鮮貿易商組合調査)

千田案と現時米價の對比表

一金十圓五十錢也 朝鮮玄米一石時價
一金六十錢 繩叺代及荷造費下賃(一石に對する分以下同じ)
一金十八錢 輸出地本船積込み艀賃
一金四十錢 輸出稅(從價五分八圓時價として)
一金四十錢 韓人問屋及在韓日本人取扱手數料
一金一圓 生產地より開港地迄の運搬賃(均額)
一金六十錢 輸出港より阪神迄の運賃
一金十五錢 保險料及荷爲替打步
一金七錢五厘 輸入地艀配達賃
一金三錢一厘 藏入仲仕賃
一金四錢二厘 一ヶ月分藏敷保管料
一金六錢八厘 藏入後一ヶ月利子
一金十六錢 手數料(時價百分の一五輸入問屋)
一金六錢四厘 通關料
●一金參圓十貳錢也 輸入稅
小計金六圓八十九錢 輸入出稅及附帶費共
差引金三圓六十一錢 韓國農民手取金

現行稅率と現時米價の對比表 四十二年二月廿八日現在(大阪朝鮮貿易商組合調)

一金十圓五十錢也 朝鮮玄米一石時價
一金六十錢 繩叺及荷造費下賃(一石に對する分以下同じ)
一金十八錢 輸出地本船積込み艀賃
一金四十錢 輸出稅(從價五分八圓時價として)
一金四十錢 韓人問屋及在韓日本人取扱手數料
一金一圓 生產地より開港地迄の運搬賃平均額
一金六十錢 輸出港より阪神迄の運賃
一金十五錢 保險料及荷爲替打步
一金七錢五厘 輸入地艀配達賃
一金三錢一厘 藏入仲仕賃
一金四錢二厘 一ヶ月分藏敷保管料
一金六錢八厘 藏入後一ヶ月利子
一金十六錢 手數料(時價百分の一五輸入問屋)
一金六錢四厘 通關料
一金一圓五十三錢六厘 輸入稅
小計金五圓三十錢六厘 輸入出稅及附帶費共
差引金五圓十九錢四厘 韓國農民手取金

●法外の通關料 別項增稅率と米價に示すが如く內地行韓國米に掛らる通關料なる者は一石に付六錢四厘也假りに大阪に入る韓米一ヶ年五十萬石とすれば之に要する通關料は三萬二千圓なり通關の手續如何に面倒なりとは云へ石に付一錢乃至二錢の高下を爭ふ米に對し單に通關の爲に一石六錢四厘を要すとは法外ならずや

●副統監の盡力 穀物輸入稅引上反對に就き昨日仁川日本人商業會議所萩谷書記長並に群山吉村民團議員の兩氏は統監府に副統監を訪問し右引上反對に關し縷々陳述せし所副統監に於ても大に贊成の意を表し出來得る限り盡力すべしと答へたる由なり

●伊藤統監の入京 伊藤統監は三日入京南坂官邸に入りたりとの事なり

●朝鮮貿易組合運動 仁川日本人商業會議所よりは曩に輸入穀物增稅案が提出せられたる際日本有力商業會議所及び組合に反對運動の依賴狀を差し出し置きたるが一昨日同會議所に大阪朝鮮貿易組合より「同組合より粟谷、杉野の兩氏を東京に派遣し極力反對運動の目的の貫徹を期すべし」との意味の回答ありたりと

●官吏と淸國勳章 昨紙所報の如く今般在韓國の日本官吏に對し淸國政府より勳章贈與の筈なるが其の種別人名左の如し

第二等第一寶星(瑞寶章相當)級(肩章)附 通信管理局長 池田十三郞
第二等第三寶星(同上) 統監府書記官 小松綠
同上 京城理事官 三浦彌五郎
同上 木浦理事官 仲大路
同上 仁川理事官 信夫淳平
第三等第一寶星 統監府 本田通譯官
同上 前間通譯官
第三等第二寶星 仁川理事廳 大浦通譯官
第三等第三寶星 巨文島郵便局長 小山光正

●內部官吏の義捐 文川郡の飢饉に對し內部官吏は其の受くる俸給額に應し奏任官以上は其の百分の一判任官は其の二百分の一を義捐して救助費の內に加ふる事とせりと

●平壤商會議員決定 平壤日本人商業會議所議員選擧は去る一日二日の兩日を以て執行されたるが開票の結果左の如く當選決定したり

阿川條太郎、淺井佐一郎、久保順吉、宮川五郎三郎、板倉鋒太郎、伊藤佐七、松尾六郎、松尾重信、松井民次郎、第一銀行支店齊藤久太郎、白川正治、大橋寅次郎、內田祿雄、古莊仁太郎、廣田鐵次郎、奧田延之助

●徵兵檢查の日取 四十二年度徵兵檢查場は龍山步兵第十三聯隊兵營內に於て執行する日取左の如し

四月一日 午前八時より午後五時迄 人員二百人
二日 午前同上 同
三日 同上 同
四日 同上 同
五日 午前八時より午後二時迄 同上 百四人
合計人員 九百四人

●次回の京城民會 次回の京城民會は六日午後六時半より民團樓上に開催の筈なり

●豫算委員會協議 仁川民團四十二年度豫算委員會は既報の如く去る一日午後一時より民團樓上に於いて開かれ營業稅、土地建物稅雜種稅及び各國居留土地稅減額の件戶別等級表七等まで調查協議したる上散會したるが尙殘部の調查は今日午後一時より更に委員會を開く筈なりと云ふ

●埋立工事の着手 仁川稅關の第二期埋立工事即ち仁川陸軍運輸部前の海岸面積二千坪の埋立は去月中既に其の工事に着手したるが埋立材料の蒐集せざりしため工事に着手せざりしが此程漸やく材料蒐集したるを以て近々中愈々本工事に着手する筈なりと云ふ

●居留會協議事項 仁川各國居留地會は豫報の如く同地各國警察內にて一昨日午前十時三十分より開かれ富田氏提出に係る防火費支出の件に就き協議したるが其の結果仁川民團の同經常部八百三十一圓の中三分の一及び各國居留地に新設せらるべき貯水池の費用六百圓を負擔することに決したりと云ふ

●仁阪航路の擴張 仁川大阪商船支店員の語る所に依れば毎年一二の兩月は輸入貨物の尤も少なき時にして殊に去月の如きは僅かに二千噸の揚荷あるのみなりしが本月よりは多少增加し來月に入れば夏物輸入期節に相當するを以て益々增加し來り又一方輸出に於いても多少色めき相應殷賑を極むべきを以て同社にては來月より仁川大阪間航路の擴張をなすことに決し從來一回二艘の定期船なりしを三艘に增加したる上右の中一艘は群山のみに寄港せず鎭南浦まで延航する豫定にて四月一日より實行する筈なりと云ふ

●平南間馬車交通 鎭南浦の有志家原田某は今回平壤鎭南浦間に馬車の便を開かんとし近く其の事業を開始する運びに至るべしと云ふ因に鎭南浦各國人居留地會にては原田某の擧を賛し其の事業費の內に幾分の補助費を支出する由

●東拓總裁一行視察 宇佐川吉原正副總裁は林井上兩理事立花調查役等を隨へ昨日午前八時五十分南大門發にて永登浦に至り歸途龍山を視察し歸社す

●仁川港浚渫着手 仁川港灣改良の第一着手として內港の水路を浚渫すべきに就き釜山に繫留しありたる掘揚式浚渫船二艘を數日前光濟號が曳引して仁川に入港したることは既記したる所なるが建築所仁川出張所に就き其の着手期を聞くに上記浚渫船には少しく修繕を加ふべき點あるより目下同港に碇泊せしめ係員をして速急修繕工事をなさしめ居れば愈々浚渫に着手せらるゝは右竣成の曉即ち本月の十日頃なるべしと云ふ

●穀物輸入稅引上反對建議 日本人商業聯合會にては今回の穀物輸入稅引上反對に關し去る三日附を以て總理大臣、農商務大臣、貴衆兩院議長各政黨の領袖衆議院委員及政府委員其他各關係の議員及團体重なる新聞社等三十餘ケ所に宛て反對決議書を送致せり其要點左の如し

一本案は政治及經濟社會問題接觸し一部農民以外の國民に大苦痛を與ふる事を忘却す

二本案は國勢發展上大關係ある日本の領土及び保護國との貿易經濟關係を度外視す

三本案は日本を純農國となせる理由が根底より誤れり

四本案は日本の作柄と外國產米麥の輸出入とより生ずる價格の變動に就ては何等の說明なく單に現今の米價を基礎とし立論せるを以て信憑するに足らず

五本案は他の物價と米價との關係に就て一言の論及なきは誤れるの甚しきものなり

之を要するに本案提出者は斯る重大なる問題を提出するに相當の研究をなさず確實の理由を付せずして漫に表面の事實のみを以てするが如きは杜撰も亦甚だし日本に外國米の輸入せらるゝは提出者の言ふ如くなれども韓國米臺灣米の輸入が漸次增加するの傾向あるは日本の人口に比し產米の不足より來る結果と外國米の價格低廉なるより來る等は重なる原因ならんが本案提出者は自國產米の豐凶を問はず一に外國米の價格如何に支配さるゝものとなしたるは甚大なる誤謬なりと痛論し更に既往五年間の產額表を擧げ亦四年間の輸出量を擧げ其價格を比較して本案の誤謬を糺して更に既往十六ケ年間の韓國輸出入貿易と日本輸出入を比較對照して徹頭徹尾本案の極て誤謬なることを具さに論じて保護國の關係及在留邦人の利害に及ぶ所說詳密大に世を動かすべし

●一昨夜の京城民會 去る三日午後七時より京城民團役所樓上に於て開會したる民團議會は出席者十三名最初四十二年度歲入出總豫算に就て協議する所あり歲入經常部第一款民團稅に就て四五の議員より質問ありしが民長之に答へて本議を了し第二款中學校問題に移れるが劈頭大村氏の生徒數百五十名といふに對して質問あり民長之に答へて又同氏の授業料の高きに失するなきやを質したりしも民長又內地の例を引きて詳細に說明し其の他二三の討議ありし後第三款財產收入に移りたるが曾我氏は不動產、收入動產收入の文字に語弊あるもの如しと述ぶるや民長之を反駁しソレより第四款雜收入に移り曾川議員大に質問する所あり其他二三の案を議して閉會せしは午後十二時頃なりしと

●北韓の明太漁況 元山理事廳若松理事官より農商工部木內次官に報告したる北韓明太魚の漁況を聞くに本年は氣候平穩ならず隨つて出漁日數多からざりし爲め平年に比し著しく收獲を減少し其の總高は二万一千四百四十三駄(一駄二千疋)にして平年六七万駄なるに比し約三分一强の收獲なり魚價は漁獲の多少に依り高低あるは普通の狀態なれども本魚は此差異甚だ少なく一駄十二、三圓を最上とし乾燥地色澤等十分ならざるものは八九圓に過ぎずして製品は此差を生ずるも生鮮のものは常に十三圓內外を上下せり而して明太魚漁獲の多少は出稼人の多少に因るものにして專ら永興、咸興、定平、釜山、密陽等より出稼を爲し其の方面の良漁場たる六站、新浦、新湖、遮湖等に限るものゝ如し

●阪神の韓國視察團 釜山の滿韓實業協會は朝鮮興信所を兼ね其機關として雜誌「滿韓之實業」を發刊し彼我商業上の連絡を圖り居れるが來る四月以後大阪神戶間の會員三十名位を一團とせる韓國視察團を作り毎月一回韓國內地を視察せしむる由

●平壤市街樹木植付 平壤民團に於ては今回理事廳裏山の軍用地を公園とする爲め豫て農商工部より夫れに植付くべき樹木の苗木二萬本を無償にて配付を受くることゝなりたるが右二萬本の內約二千本は停車場通りより新市街に亘り兩道路の兩側に植へ付くる計畫なりと因みに其の植付くる樹木は櫻、紅葉、赤楊等なる由

●群山石油組合獨立 從來群山石油組合(スタンダード油)は仁川石油組合の下賣りの如きものにて仁川石油組合は群山送りのものに對し一箱につき十六錢の純益を得つゝありしが今般當組合より仁川タウンセンド商會と交涉し仁川組合の手を經ず代理店たる同商會より直取引をなすことゝ也たり

●全群橋梁工事近況 全州群山間橋梁工事の中全州河の分を除きたる大小十三ヶ所の橋梁は京城松本組之れを請負ひ以後材料の蒐集中なるが昨今略々纏まりたるを以て本月中には工事に着手し請負期限の六月末日迄には完成せしむる筈なりと

●三浦理事官の滯京 目下在京中なる京城理事廳理事官三浦彌五郎氏は三日附を以て一週間滯京を命ぜられたり

公人私人

▲明石元太郎(憲兵少將) 憲兵隊長會議列席の爲め來る十一日東上する由

▲本多駒次郎(統監府通譯官) 木浦、群山地方出張中之處 昨夜歸任

▲大塚檍三郎(鐵道管理局技師) 昨朝釜山へ向け出發

▲佐分利貞男(外務省參與官) 同上

▲大枝義祐(城津理事官) 一昨日歸任

▲山口春正(春川財務官) 一昨日入城佐藤旅館へ

▲湯淺春富(慶北警察部長) 同上巴城館へ

▲本田博士(水原模範農場長) 一昨日歸任

近事片々

▲近頃馬鹿氣た問題は輸入米關稅引上げ案である余りに愚案過ぎて唯呆れる外なし

▲千田軍之助とか云ふ代議士は全体日本に生れた人間か知らん無識も茲に至て極端

▲輸入米の關稅を高くして其結果の如何も更御存知ないか之でも代議士かウフ、

▲局を知らん彼は利害は能く知れるも輸入米商の黃白に迷て此大愚案を提出せりとさ

▲小人窮すれば亂すとは能く云ふた事だ斯る小人は速に議會より驅逐すべしである

▲韓國女官等我皇室の優遇に感泣せりと左もあるべし之れ彼等には空前の事ならん

▲伊藤公夫人梅子の方も亦韓國女官を招待して宴を開く迄は先づ宴會攻なる乎

▲同行したる特使閔君も今回の如き優遇を受けたることは始てならん良き廻り役也

▲歸來閔君の態度は一變すべしとは片々の屢言ふ所小宮君が手古摺らねば幸である

▲日本の宮中儀式は斯くである一も二も反對に註釋をせらるゝ奇觀なくんば幸甚也

▲萬朝報の滿韓照魔鏡は愈々出でゝ愈々面黑し總て韓國の事に入ればさぞ興あらん

▲窮措大氏の照魔鏡は滿韓に於ける邦人に多大の訓戒を與ふるや必せり筆力雄健なれ

▲暴徒が近頃兩韓諸島を襲擊すること頻々邦人の被害少なからず鎭定の道はなき乎

▲被害者の額々あるを知りつゝ默過する官憲は度量大なりとは京童の評疎なる批評

▲全体暴徒鎭定には如何なる方針を取りつゝある乎豈夫鬮せず焉を碰込むに非らん

▲若し夫れ捨置きにせらるゝとせば統監政治の無能を表示するもの其眞相聞きたし

▲桂首相は西園寺侯の令嗣八郎氏を秘書官となせり大頭候益々智慧者となり來れり

▲朝比奈碌堂の東京新聞は後藤男爵の機關なりとの說は異ならん是有力の機關新聞

▲往年敵味方たりし蘇峰碌堂轡を並べて御用を勤む其武者振や勇し前途の運命如何

京城新報（日刊）（号外及祭日翌日休刊）　明治四十二年三月五日　第二種郵便物認可　（金曜日）　第一五十號　（三）

雜報

●酒井政平の破綻（十）（二）

▲悲むべき居留地の開題▲中村再造氏の被告事件眞相……

▲債權者會　溫和強硬兩派各債權者の要求によりて債權者會は九月十九日商業會議所樓上に於て開催せられたり出席者は中村待井須田（飯泉氏の後任）の三監理委員及び各債權者あり三監理委員中常に委員長の役を勉むる中村再造氏は各委員を代表して演壇に上り挨拶の言葉を述べ續て物議の種となる第二回報告書（破産管財人より債權者に對する報告書）の整理方法が市原熊谷兩氏の手に成りたる整理案の精神に違反せる條項ありと指摘して之が撤回を求め更に整理案の規定に準據したる整理方法を立てんことを欲するとの要求書を朗讀したり

▲中村氏退場　田村氏の朗讀未だ終らざるに中村氏は突然起立大喝一聲田村氏の朗讀を防止して曰く「私は諸君の命令に從つて働くものにあらず、諸君は諸君の思ひ通りに爲さい、私はこれから私の勝手に仕ます」と叫び憤然として席を蹴立て引揚むる人々を振拂ひて荒々敷退場したれば一同は只呆れて暫然茫然たる計りなりし

▲引續き會議　中村委員は去りたれども待井、須田の二委員の在るを以て會議は引續き進められたが債權者側より二委員の整理方法には頗る反對にて是非とも整理案に準據せる方法を立てざるべからずと委員會に於て始終主張せしも常に中村氏に壓せられ已むを得ず、報告書に同意の署名したるものゝ由なるが去れども各債權者より會議に於て質問攻撃を以て苦しめられしは實の氣の毒の次第なり

▲待井委員　委員待井氏は第二報告中の整理方法には頗る反對にて是非とも整理案に準據せる方法を立てざるべからずと委員會に於て始終主張せしも常に中村氏に壓せられ已むを得ず、報告書に同意の署名したるものゝ由なるが去れども各債權者より會議に於て質問攻撃を以て苦しめられしは實の氣の毒の次第なり

●熊谷民長出場

▲熊谷民長出場　斯くて一同は何れも田村氏の提議に賛成し先づ委員を以て本整理案の規定に從ひ放棄すべき抵當權の所有者に更に變更せしむべきに決議の上散會したるが當日の會議は開會の劈頭中村氏退場の爲めに思ひ居たる次第なるが此樣子を知りたる熊谷民長は頗る之を憂へられ停會の爲開會前に於て態々出席せられたり

●宋秉畯と李鳳來

▲太郎冠者

▲やるせいろ〳〵　遠からん者は音にも聞け近くば寄て目にも見よ我こそは韓國內部大臣宋秉畯なりと名乘も出ず先きの女の訪づれ祭りしより心中にては不審の眉をひそめるも表に出さず平然として其の女に相逢ふや否や女は男に對し「私は貴方の御一緒に連れ行くことゝ決して〳〵貴郎の御迷惑になるやうなことは致しませぬ程に……」との意外の言葉に男は肥然として呆るゝ許りなりしが漸く女の厚き同情さへ催うし一先づ女を敷護せばやと女の望を叶ふ行く先きに連れ行くことゝなし盟約の空さだ白まずならぬ頃急ぎ宿を出で山又山の險しき街道を辿り漸く夕陽西に傾きて晩鴉歸巢の頃なりき漸くて男女の兩人は知人某の家に旅の鞋を解くや否や附近を尋ね廻りし折一人の婦人の來訪ありて一通の書狀を男に渡し去りぬ男は何れも田村氏の提議に賛成し先づ委員を以て本整理案の規定に從ひ放棄すべき抵當權の所有者に更に變更せしむべきに決議の上散會したるが當日の會議は開會の劈頭中村氏退場の爲めに思ひ居たる次第なるが此樣子を知りたる熊谷民長は頗る之を憂へられ停會の爲開會前に於て態々出席せられたり

●宋秉畯と李鳳來

▲太郎冠者

▲やるせいろ〳〵　遠からん者は音にも聞け近くば寄て目にも見よ我こそは韓國內部大臣宋秉畯なりと名乘も出ず先きの女の訪づれ祭りしより心中にては不審の眉をひそめるも表に出さず平然として其の女に相逢ふや否や女は男に對し「私は貴方の御一緒に連れ行くことゝ決して〳〵貴郎の御迷惑になるやうなことは致しませぬ程に……」との意外の言葉に男は肥然として呆るゝ許りなりしが漸く女の厚き同情さへ催うし一先づ女を敷護せばやと女の望を叶ふ行く先きに連れ行くことゝなし盟約の空さだ白まずならぬ頃急ぎ宿を出で山又山の險しき街道を辿り漸く夕陽西に傾きて晩鴉歸巢の頃なりき漸くて男女の兩人は知人某の家に旅の鞋を解くや否や附近を尋ね廻りし折一人の婦人の來訪ありて一通の書狀を男に渡し去りぬ男は何れも田村氏の提議に賛成し先づ委員を以て本整理案の規定に從ひ放棄すべき抵當權の所有者に更に變更せしむべきに決議の上散會したるが當日の會議は開會の劈頭中村氏退場の爲めに思ひ居たる次第なるが此樣子を知りたる熊谷民長は頗る之を憂へられ停會の爲開會前に於て態々出席せられたり

●宮內府の立物小宮次官を丸め六萬圓に說つけ

宮內府よりマンマと六萬圓を支出せしめたるとは當時の新聞紙に掲げられ扨も其後去る程に其美術工藝が盛に製造せらるゝかと思へばさはなくて何事の着手もなく世の人をして徐に訝かしく思はしめたりき其內年も明け韓皇の南北巡視やら何やかやに事忙はしく世の人も打忘れ居たるに宋の大臣の爛眼なる何條之事閣却すべき伊藤公に伴はれて渡日するときに此六萬圓の中より一萬圓を取り出して待ち行きけるに、同志の李鳳來等も大臣の勢力を亦た利用する場合もあるべし何事の苦情も云はずして大臣の君の疾く歸れかしとの思ひ居りたるに下の關神戶等にて例によりて空元氣に任せて三寸不爛の舌頭を振廻はしたる勢ひに李鳳來の無邪氣なる其空元氣を末頼もしく思ひけるさる程に此方に恨然頼みに思ふ宋の大臣は免官となるやさては失敗だりやら扱りにけりと地團太踏めども遑ひ得ずよし此上は疾く追掛けて其金こちらに取返し呉れんと旅の用意もそこ〳〵にして東の空に旅立ちぬ、あわれ李鳳來等は首尾能くしてやられたるを今更に悔ひべけれども李鳳來と並々の れ人好しにも非ざれば此は世の諺の人を呪はゞ穴二つにて何れは來る運命ならん、今頃は嘸や宋君の軸を捉へてやるまいぞ〳〵とたのうだれ方をせめ居るならん因に彼の六萬圓は宮內府が嚴重に監理し居る筈なるに一體ドコの樣の下に埋めあるものにや

●深山の美人

▲れふでの素性　男は國らずも先きの女の訪づれ祭りしより心中にては不審の眉をひそめるも表に出さず平然として其の女に相逢ふや否や女は男に對し「私は貴方の御一緒に連れ行くことゝ決して〳〵貴郎の御迷惑になるやうなことは致しませぬ程に……」との意外の言葉に男は肥然として呆るゝ許りなりしが漸く女の厚き同情さへ催うし一先づ女を敷護せばやと女の望を叶ふ行く先きに連れ行くことゝなし盟約の空さだ白まずならぬ頃急ぎ宿を出で山又山の險しき街道を辿り漸く夕陽西に傾きて晩鴉歸巢の頃なりき漸くて男女の兩人は知人某の家に旅の鞋を解くや否や附近を尋ね廻りし折一人の婦人の來訪ありて一通の書狀を男に渡し去りぬ男は何れも田村氏の提議に賛成し先づ委員を以て本整理案の規定に從ひ放棄すべき抵當權の所有者に更に變更せしむべきに決議の上散會したるが當日の會議は開會の劈頭中村氏退場の爲めに思ひ居たる次第なるが此樣子を知りたる熊谷民長は頗る之を憂へられ停會の爲開會前に於て態々出席せられたり

●宋秉畯と李鳳來

▲太郎冠者

▲やるせいろ〳〵　遠からん者は音にも聞け近くば寄て目にも見よ我こそは韓國內部大臣宋秉畯なりと名乘も出ず先きの女の訪づれ祭りしより心中にては不審の眉をひそめるも表に出さず平然として其の女に相逢ふや否や女は男に對し「私は貴方の御一緒に連れ行くことゝ決して〳〵貴郎の御迷惑になるやうなことは致しませぬ程に……」との意外の言葉に男は肥然として呆るゝ許りなりしが漸く女の厚き同情さへ催うし一先づ女を敷護せばやと女の望を叶ふ行く先きに連れ行くことゝなし盟約の空さだ白まずならぬ頃急ぎ宿を出で山又山の險しき街道を辿り漸く夕陽西に傾きて晩鴉歸巢の頃なりき漸くて男女の兩人は知人某の家に旅の鞋を解くや否や附近を尋ね廻りし折一人の婦人の來訪ありて一通の書狀を男に渡し去りぬ男は何れも田村氏の提議に賛成し先づ委員を以て本整理案の規定に從ひ放棄すべき抵當權の所有者に更に變更せしむべきに決議の上散會したるが當日の會議は開會の劈頭中村氏退場の爲めに思ひ居たる次第なるが此樣子を知りたる熊谷民長は頗る之を憂へられ停會の爲開會前に於て態々出席せられたり

●新町たより

不夜城は衆ねて不景氣知らぬが世の習いなるに是れはどうした事か當地新町の不景氣は泥眠街のそれより甚しき模樣なりと申すは客數の少きにあらずして馬鹿騷ぎをする遊野郎の多かりしにより各建築工事に着手する時期なれば各地よりはそれを當て込みて金筋連の來仁して請負主を脅迫して團子金を強請するもの增加するを豫想して此等の惡漢は些の猶豫も與へず片端より檢擧して充分なる處分を加ふる方針にて何賭博の如きも充分取締る方針を執る由なり

●仁丹製造高と賣上高

大阪市中に於ける昨年中の仁丹製造高は九十萬三千圓にて他の資藥に比し四倍若くは五倍の多額に達し居れるが實に驚くの外なし蓋し之を以て見ても仁丹の販路が如何に廣大なるかを知るに足るべし因に當地新井藥房のみにての昨年中の賣上高は二萬圓余なりといふ

●巷のいろ〳〵

南部茶洞居住千天萬（ナ）は三月三日前後七時半頃本町一丁目松本銓吉裏に積みある木炭を竊取せんとなしたるを家人の發見する處となり直ちに逮捕其の筋へ突き出されたり▲清國山東省登州府趙達縣當時京城住所不定年定元（ニ）は三日午後二時頃南大門通二丁目野菜商豐川恒之進方に於て家人の隙を窺ひ其の店先に置きありたる帶袋入現金四圓三十五錢を窃取逃走せんとしたる處を取押へ淸國警察署へ引致したり▲黑皮製韓人向福上靴一足（新物）を南部署へ遺忘しある由なれば心當りの者は同署へ出頭品を一覽すべしとなり

天氣豫報（自五日午後六時至六日午後六時）

南の風曇

廣告

訴訟用旅行中歸宅仕し候

辯護士 岩田仙宗

明治町貳丁目
電話三五四番

●工業傳習所本館及學生寄宿舍並司監室修繕工事

右三月十二日入札ニ附ス詳細ハ五日以後ノ官報又ハ當所ノ揭示ヲ見ヨ但書留郵便ニテ後ノ官報又ハ當所ノ揭示ヲ以テ承知スヘシ

入札ノ者ハ營業證明書、經歷書、保證金並送

建築所

●農商工部新築廳舍敷地內建物二拾二廉

右三月十二日實却入札ニ附ス詳細ハ六日以後ノ官報又ハ當所ノ揭示ヲ見ヨ但書留郵便ニテ後ノ官報又ハ當所ノ揭示ヲ以テ承知スヘシ

入札ノ者ハ營業證明書、經歷書、保證金並送

建築所

芳醇無比の淸酒

サクラマサムネ

京城南山町四丁目（電話八四九番）

山邑京城支店

東京名所圖會

第一編 第二百六十二號

深川區の部 其の貳

挿繪▲深川古石場堤上の眺望▲深川海福寺▲靈巖院▲木場▲芭蕉庵▲

大日本名所圖會六十四號即新撰東京名所第六十三編深川區の部其二出づ本編收ひらどころ深川越中島より扇橋町に至る二十有餘町の位置區域及町名の沿革、社寺學校各工場或は橋梁等網羅し盡して些の遺漏なし今や三月を以て深川區の部其三を發行し茲に大好評聲裡に東京全部の名所圖會を終らんとす此に於てか其の筆なり世上隱々たる雜誌は多けれど實益と趣味とを兼ねたる興味あるもの殆ど稀なり本誌と云ふも敢て誇言ならざるを信ず前後本誌に品切ならんとす新號又印刷部數に制限あり此際御購讀御申込あらん事を伏して謹告す

（四月一日發行）

定價金十五錢　郵稅金一錢

京都名所圖會

第二百六十二號

挿繪▲法然上人行狀畫卷其二　精巧石版極彩色　土佐邦隆筆▲山水明王恒▲水墨山水雪中竹荒木十畝▲幾雪、南保定業▲理學月金屬▲平林散牧▲大木也香▲蘆雁、鈴木啓處▲青綠山水、川納竹山▲迪畝、石▲迪畝▲雪、五島畝軒▲山櫻、永野靜畝▲馬島寬泉記事▲主張、講義、雜報、小品、俳句、雜錄等例に依て有趣有益

發行所　東京市神田區通新石町　電話本局九七〇番　振替口座一九〇六番　東陽堂

定價金參拾錢　郵稅金壹錢

三月　京城新報社　近刊

紳士錄

京城　龍山　紳士錄　出版に付

聊か公衆の御便利に供せんが爲弊社は近々京城龍山紳士及び製本の體裁等に關し是非大方の御示教を仰き度御氣付の御方は何卒弊社へ御垂教を玉はらんことを

敬白

京城新報社

韓國發賣元

大塚仁川支店

電話六十四番

醇良

淸酒

韓國輸入酒界ノ巨擘トシテ已ニ定評アル淸酒金露ハ昨年冷卸ヨリ攝津灘魚崎釀造所吟釀品輸入致候處愛飮家諸彦ノ御嗜好ニ適ヒ非常ナル好評ヲ博シ販賣數モ日々增加仕候段深ク謹謝罷在候尙精々品質吟味ノ上御需用ニ應ジ申候間層一層ノ御愛顧賜リ度偏ニ奉希上候　謹白

第50号　1909. 3. 5.

▲無料紹介欄▼

人事部

販賣度　洋傘事務に心得あり年齢二十三歳位紀に心得あり年齢二十六歳履歴書　在社（一七〇）

雇人　物理學校及中學校卒業の者數學物理日語數學に熟達し地方行にても宜敷候給不論　姓名在社（一七二）

雇人　昨年十一月現役滿期下士官に屬はれたし又は銀行事務員に屬はれたし可成は韓國側官省の事務員を望み履歴書は何時にても持參　姓名在社（一七九）

店員雇入　京城御成町　岡本織色工場（一八二）

雇人　小學敎員免許狀有し多年敎員經驗有良家の家庭敎師を望み履歷書御確文第送附す　姓名在社（一八二）

雇人　敎員免狀有し多年敎育事業に經驗有り韓人附近の日語敎師を望む委細は面談　姓名在社（一八三）

雇人　年齢二十五中等敎育有り煩雜多忙る事務に從事しうし唯明哲なる頭腦を有するに非ず至極遵奉ならず稍文章に長ず履歷書面談何たりても不苦　姓名在社（一八四）

雇人　現業に多年經驗を有す給料御望次第雇はれたし　姓名在社（一八五）

求職業　友人歲二十才普通敎育あり從來外國商館に勤め商店及會社事務員に雇われたし但會話に必得あり　姓名在社（一八六）

雇人　二十才以下にして身元保證人ある者　明治町一丁目西山商店（一八七）

店員入用　十八歲以下にして身元保證人ある者　龍山元町三電三四三日韓組白米小賣店（一八八）

貸間　旭町便利の場所に賄付上等貸間あり高等官赤會社員向御希望の方は電話六五九番に御紹介被下度候　（一六九）

貸間　旭町一丁目山の手にて風景絶佳の土地建物付にて譲度し　姓名在社（一七五）

貸家　京城明治町二丁目所在二階建五間續建具完備關東手元用水便利也　漢貸十五圓井五圓　明治町角藤田合名會社貸家係（電話一三〇）

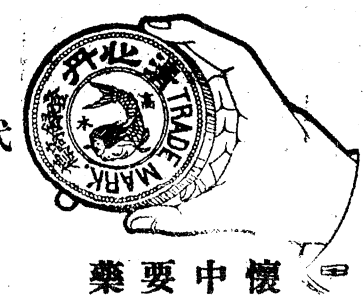
貸地　龍山青坡契（彈藥庫横）千五百坪　京城北米倉町一丁目　多田貿店（一八〇）

貸家　京城明治町二丁目所在二階建五間續建具完備關東手元用水便利也　漢貸十五圓井五圓　明治町角藤田合名會社貸家係（電話一三〇）

貸間　二階六疊二間床間押入付　至急貸したし　旭町一の六十　京仁商會（一六一）

雜貨　見切品見世仕舞品及諸道具其他不用品何でも買入ます　旭町一丁目　鴨町競賣所（一六二）

賣家　大和町三丁目遊廓裏通用地地坪約卅坪建貸平家造作付四軒建長家　赤門　岡（一六八）



代理店

懐中要薬

清心丹　は旅行携帶藥として缺く可からざる良藥にして汽車汽船の是ひを快よくすること妙　高尚なる香氣を含み口熱惡臭を消し音聲を潤し朝ならしむる特効有を以て營業家其他交際場裡の必携劑なり

清心丹　は風土變り水あたり等の恐れあるときは時々二三粒づゝ用ゆれば其患ひなからしむ

清心丹　は過酒過食之停滯を解し消化を良好ならしむること妙　墨さ寒されたりにて下痢腹には三十粒乃至四十粒を噛み碎き三四回用ゆれば必ず奇効あり

清心丹　は傳染病流行地に於ては常に二三粒噛み碎用ひて大に豫防す

清心丹　は人魚の商標と高木與兵衛の名備へ御注意之上御求めを乞ふ

清心丹　は定價金一圓（箱入）五十錢（箱入）卅錢十五錢（箱入）十錢（紙包）の八種あり製造本舗は東京市日本橋區元大坂町八番地にして取次は全國到る所の有名藥店にて販賣す

京城南大門通三丁目　京城本町二丁目（電話四七八番）　京城南大門外

新井藥房本店
新井藥房第一分店
新井藥房第二分店

米

東京海上火災保険株式會社

明治廿年創立資本金一千萬圓　日本國火災保險業の嚆矢

代辦店　山口吳服店
事務所　京城本町二の三電話九番

大見切賣

金口卷莨各種

エヂプト卷莨

弊店儀營業上の都合に依り來る二十五日より三月二十五日迄（二十日間）現在品悉皆各國産煙草大見切安直を以て（但し現金）御高需に應し候間此際陸續御用命の程奉願候

二月二日

各位

西洋御料理宴會
京城ホテル
京城南山町三丁目（電話一二三番）

本町一丁目
トルコ煙草商
日希商會

破天荒之大割引

各位益々御清榮之段欣喜此事に御座候降て弊店儀各位之御愛顧に依り日に增隆盛に趣候段難有御厚禮申上候就ては右御禮として二月廿五日より三月五日迄現金に限り正札より貳割引と云ふ破格の大割引賣出し仕候間何卒〳〵御購求被下度此段奉懇願候也

京城本町二丁目
歐米雜貨並に諸官衙御用達
四ケ所商店
電話三二一番

京城曙町（電話六四番）

紋盛有志用
宮内府御用
軸物表具
金襖屏風
頒布

京城本町七丁目別府湯

○建築業　中川卯之助

多年の經驗にて建築に確實を期し料金は便宜御相談可申候也　電話六九一

代書部

訴狀諸願屆申請書類調製
定款規約書等作成
登記證明願手續
外國旅券出願代辨
官地拂下出願代辨
諸工事請負設計
土地建物賃貸周旋

紹介部

田畑宅地鑛山賣買貸借仲介
電話店舖等讓渡仲介
船舶其他大物品賣買仲介
金錢貸借仲介
債券證券類賣買仲介

諸大家書畫揮毫並飜譯
諸外國語通辯
本事務所は即時解決し依托事件を迅速に成効せしむることを期す

京城本町二丁目（民團役所筋）
佐々木事務所

鴨綠江特種木材
九州セメント取次販賣

京城曙町七丁目別府湯
建築業　柴田芝六

電話五六八番

洋種純良牛乳

三七一五番

南大門
井上牧場

日本郵船株式會社
漢船出帆廣告

貨物及船客取扱店
仁川海岸通　郡是商店

西洋料理
東京高輪壽し
會席料理
井類いろ〳〵
折詰辨當
同

サンドーウヰッチ
南大門停車場構内
エーテー澁田

電話六八七番

▲清潔下宿▼

客室の清潔と調理の美味と御扱の懇切とを特色として下宿營業仕候間賑々敷御投宿の程御願申上候

壽町二丁目十番戸横小路
かめ屋

▲懇切の下宿▼

特約販賣
醬油
味噌
漬物

大上商店

京城本町五丁目　（電話一一五一番）

和洋酒◎精酢、穀物麵類銘茶、鑛詰、乾物荒物食料雜貨、ビール、米繩、塩幸各種特約販賣

製造元

萬大

倘御望に依り商品切手調進仕候

精良石油賣出廣告

旗票石油は

光力強度鮮明なり
容器美麗堅固なり
容量充滿なり
無色透明なり
臭氣極少なり

各位愈々御繁榮大慶至極に奉存候今般弊社の出張所を當國に設け旗票と稱する最上等石油を輸入し精々廉價に販賣致し候間御試の上精々御請求の程偏に奉願候　敬白

ライジングサン石油株式會社

韓國出張所

仁川英油組合
釜山英油組合
京城英油組合

純良

乳

牛乳元祖

京城大和町一丁目

平山牧場

電話百二十三番

商標

人蔘煉製飴

京城大和町
鳳炮堂製

護價小函四十五錢　中函五十五錢　大函七十五錢

滋養菓子
朝鮮名産定

この商標なきものはにせもの

日本への土産としてよい菓子

發賣元

京城龜屋商店
同　松屋商店
同　龜屋支店
同　大和軒
同　澁谷商店
同　寒水堂
仁川　顯原商會
開城　龍泉堂支店
平壤　龜屋支店
安東縣　龜屋支店
水原　中島商店

診療開始

弊院曩きに焚燒の災に罹り休業中の處這般南山町二丁目植村病院全部を讓受け三月一日より診療開始仕候

南山町二丁目
植村病院跡
電話六七五番
松岡醫院

三館

銘茶
高木玉茗堂

京城本町二丁目

焦心單志多年爲斯道雖於倣氣奥旨恍然似有得者匠影推屢斷腕泥洋辭會酒藏業面輕蜜也

京城本町五丁目
易願館
相敎授
通信特師一件一圓特別二圓